

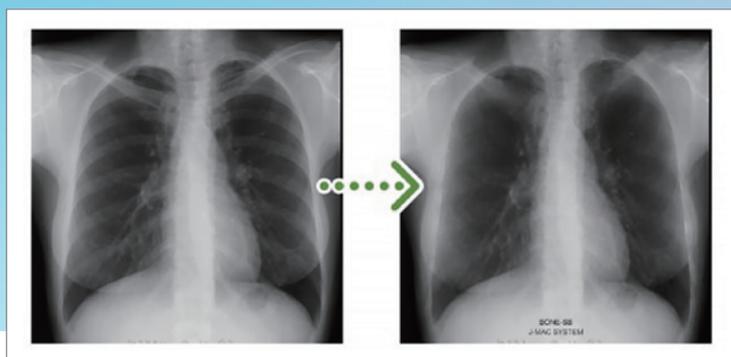
インフォコム

<https://service.infocom.co.jp/healthcare/irad/>

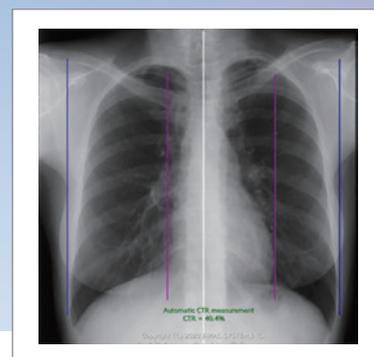
Information SystemからIntelligence Systemへ

[主な紹介製品]

- 放射線情報システム
「iRad-RS」
- 放射線レポートシステム
「iRad-RW」
- 放射線治療システム
「iRad-RT」
- 放射線治療ビューア
「RT Image Viewer」
- 検像システム
「iRad-QA」
- 整形外科画像システム
「iRad-OT」



検像システム「iRad-QA」の画像処理機能。「肋骨陰影の減弱」



「CTR計測」

国際医用画像総合展2025では、AIを用いた画像処理機能を標準機能として追加した検像システム「iRad-QA」を展示する。これまでの検像業務に加え、解析データを追加した画像提供が可能となる。

1) 肋骨陰影の減弱

撮影した画像データから、AIを用いて肋骨の陰影を薄くする画像処理を行うことで、肺野内の骨に重なった病変の見落としを防ぐ。

2) CTR計測

これまで手動で計測していたCTR(心胸郭比)をAIで自動計測する。

また、シーメンスヘルスケアの画像診断支援AIソフトウェア「AI-Rad Companion (AIRC)」とインフォコムのレポートシステム「iRad-RW」

を連携させた伊勢崎市民病院における実際の運用例を展示する。

◆放射線情報システム 「iRad-RS」

業務の安全・安心をサポートする機能として、受付時の検査間禁則チェックや検査実施時のさまざまな条件チェックが可能である。検査時の確認ミスや実施入力時の入力間違い、入力漏れを防止する。また、RISを活用したST AT報告運用についても提案を行う。

◆放射線レポートシステム 「iRad-RW」

画像診断管理加算2及び3の施設基準を満たすための指標として、該当検査の最新の読影率、必要な読影件数及

び読影に必要な時間の目安がリアルタイムで表示される。さらに、診療報酬算定に該当する検査が未読影の場合、未読フラグが表示され、読影の優先度を判断することが可能である。

◆放射線治療システム 「iRad-RT」

放射線治療に関する情報の管理、治療装置接続やシステム間連携をサポートし、放射線治療の業務ワークフローを支援する。チーム医療をシステム面から支援するため、業務TODOや治療カンファレンス機能など情報共有機能を強化し、放射線治療部門の統合管理を実現している。